

福島第一原子力発電所 労働環境の改善への取り組み

2015年9月1日

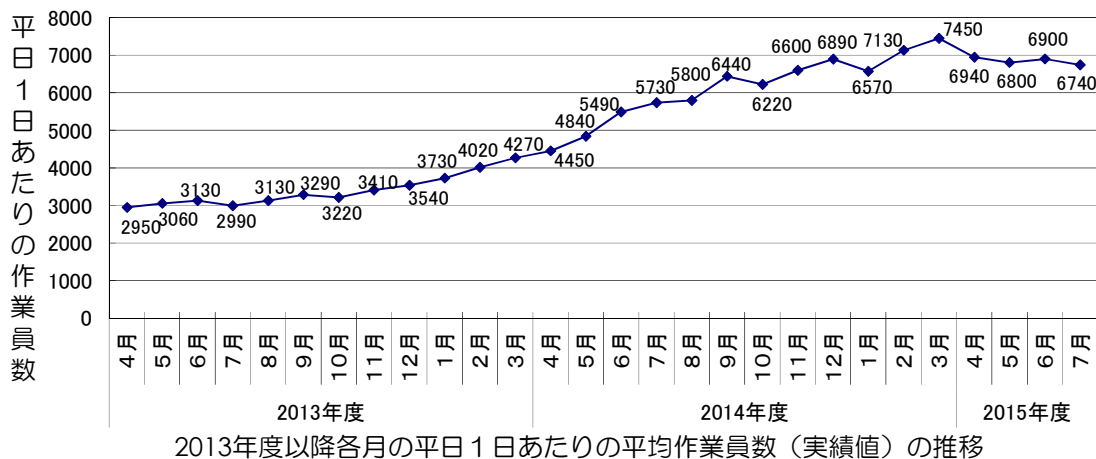
東京電力株式会社

1. 作業員数と被ばく管理、食事環境の改善

- 福島第一原子力発電所で作業されている協力企業の方々が、安心して働ける環境作りを目指し、当社として職場の労働環境の改善に取り組んでいます。
- 食事環境と現場環境の改善策として建設を進めておりました「大型休憩所」が完成し、5月31日より休憩所の運用を開始し、6月1日より食事の提供を開始しました。
- 更なる労働環境の改善へ向けて、8月27日より第6回アンケートを実施しています。

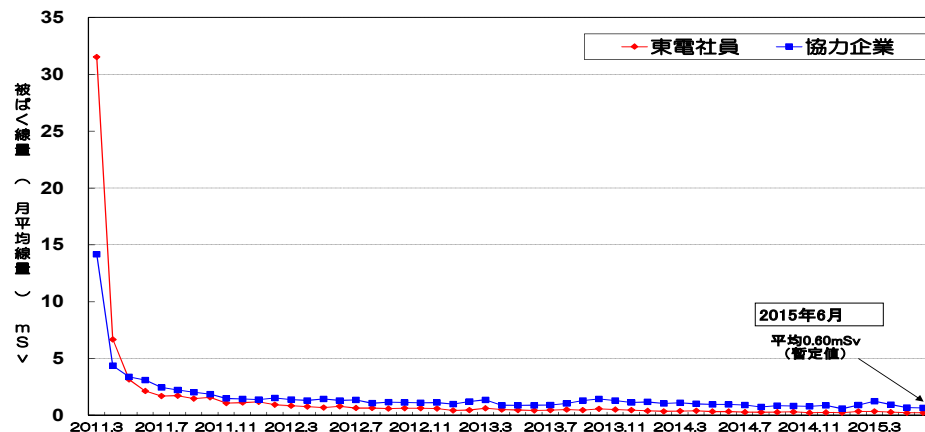
作業員数の推移・被ばく管理状況

- 下記のグラフは、平日1日あたりの作業員数（実績値）の推移です。9月の作業に想定される人数（協力企業作業員及び東電社員）は、平日1日あたり約6,700人程度と想定しています。



被ばく管理状況

- 線量低減対策や作業毎の被ばく線量予測に基づいた作業員の配置、配置変更により、作業員の平均被ばく線量は 1mSv/月 程度に抑えられています。
- 大半の作業員の被ばく線量は、年間の線量限度に対して低く抑えられています。更なる低減に努めています。
(法令上の線量限度：50mSv/年かつ100mSv/5年)



作業員の月別個人被ばく線量の推移（月平均線量）

現場環境改善

- 2015年5月31日より、約1200人が一度に利用できる大型休憩所の運用を開始しました。
- 2015年6月1日より食事の提供を開始しましたが、6月9日より一部衛生面の向上のための工事のため一時休止しておりました。休止期間中は、新事務棟の食堂を作業員のみなさまにもご利用頂けるよう、営業時間を拡大して対応しておりました。
- その後改善工事が完了し、8月3日より食事提供を再開しております。



食事風景



休憩・ミーティング風景